

# 個人投資家の皆さまへ

# 古河電工

2019年12月9日

古河電気工業株式会社  
代表取締役社長 小林 敬一

【証券コード 5801】

1. 会社概要
2. Furukawa G Plan 2020の進捗
3. 古河電工グループ ビジョン2030
4. 人材育成
5. 株主還元

1. 会社概要
2. Furukawa G Plan 2020の進捗
3. 古河電工グループ ビジョン2030
4. 人材育成
5. 株主還元

創業者 古河 市兵衛

「日本を明るくしたい」

**従業員**を大切に  
**お客様**を大切に  
**新技術**を大切に



そして、**社会に役立つことをせよ**

## 創業



本所鎔銅所  
(東京・本所)



山田電線製造所  
(横浜・高島町)

世界初  
光ファイバケーブルの  
フィールド実験に成功



ルーセントテクノロジーズ社の  
光ファイバ部門(OFS)買収により  
全世界の光通信網構築に貢献



シリコンバレーに  
研究拠点を開設

1884

1915

1974

2000

2001

2012

2018



日本初の  
海底電線を製造



波長多重技術による  
大容量通信の整備に貢献  
(1480nm帯励起光源  
レーザ量産)



「浮体式洋上windファーム  
実証研究事業」に参加

連結売上高 = 9,916億円  
(2019年3月期)



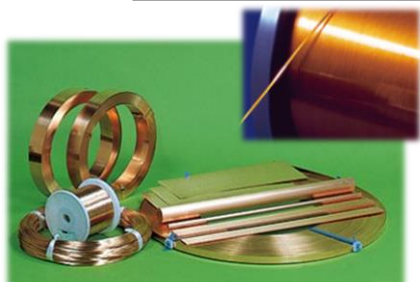
機能製品

14.3%



電装エレクトロニクス材料

28.2%



情報通信ソリューション

17.2%



エネルギーインフラ

10.3%



自動車部品・電池

25.5%





ほら、あなたのそばに古河電工

<https://www.youtube.com/watch?v=r9fnyFWhyB8>

# グローバル展開

グループ従業員数  
**52,215人**  
(2019年3月末)

グループ会社数  
**121社**  
(2019年3月末)

連結売上高  
**9,916億円**  
(2019年3月期)

北米、中米

👤 9,518名  
📄 12社  
📊 727億円



日本

👤 10,902名  
📄 40社  
📊 5,213億円

中国

👤 5,546名  
📄 19社  
📊 940億円



南米、欧州、他

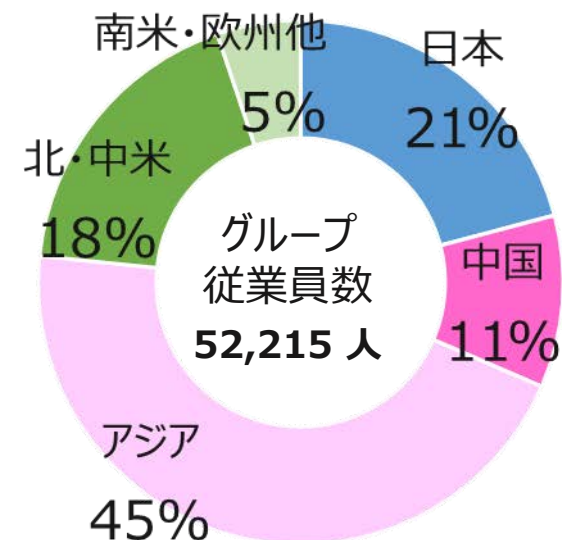
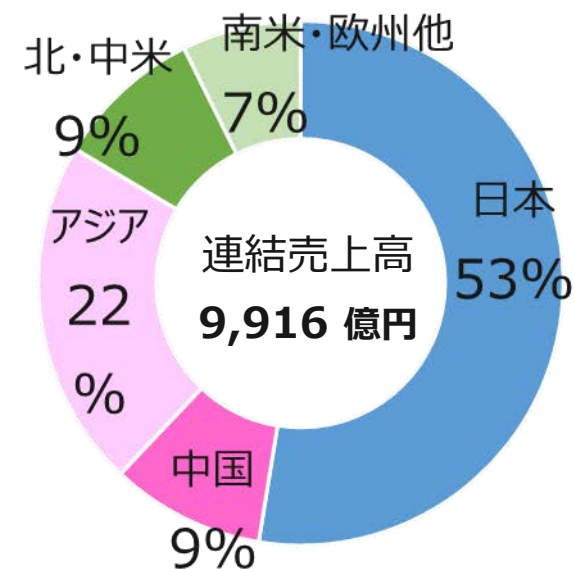
👤 2,692名  
📄 16社  
📊 904億円



アジア

(日本・中国除く)

👤 23,557名  
📄 34社  
📊 2,133億円



※ 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類



1. 会社概要
2. Furukawa G Plan 2020の進捗
3. 古河電工グループ ビジョン2030
4. 人材育成
5. 株主還元

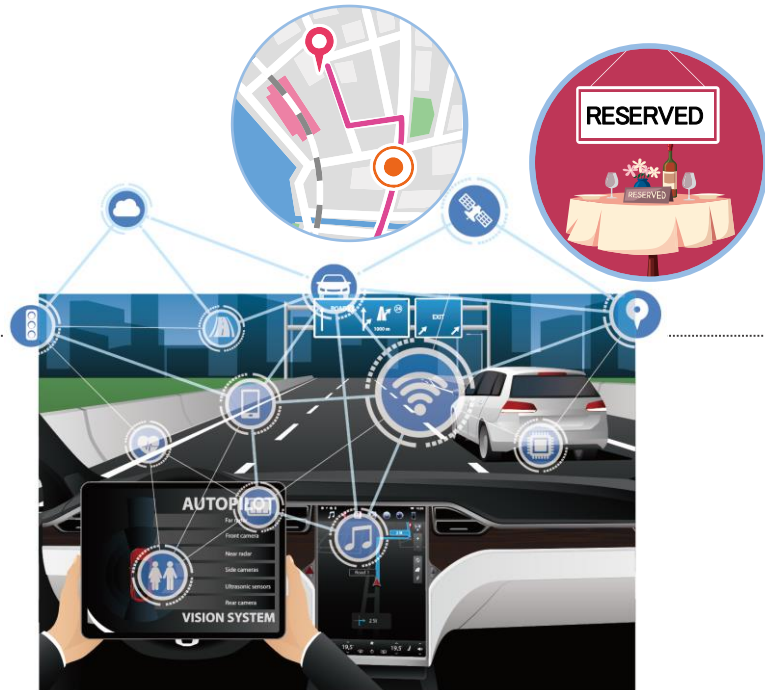


## 重点施策

1. 事業の強化と変革
2. グローバル市場での拡販推進
3. 新事業の開拓加速

## CASE(Connected・Autonomous・Shared & Services・Electric) の進展にむけて素材と部品のシナジー効果で事業拡大

### Connected



### Shared & Services

### Autonomous



### Electric

**安全・環境・快適へのニーズは増大**

周辺監視レーダ  
ステアリング・ロール・コネクタ

鉛バッテリー状態検知センサ

アルミワイヤハーネス  
α端子

軽量化

安全

高圧ワイヤハーネス  
高圧部品

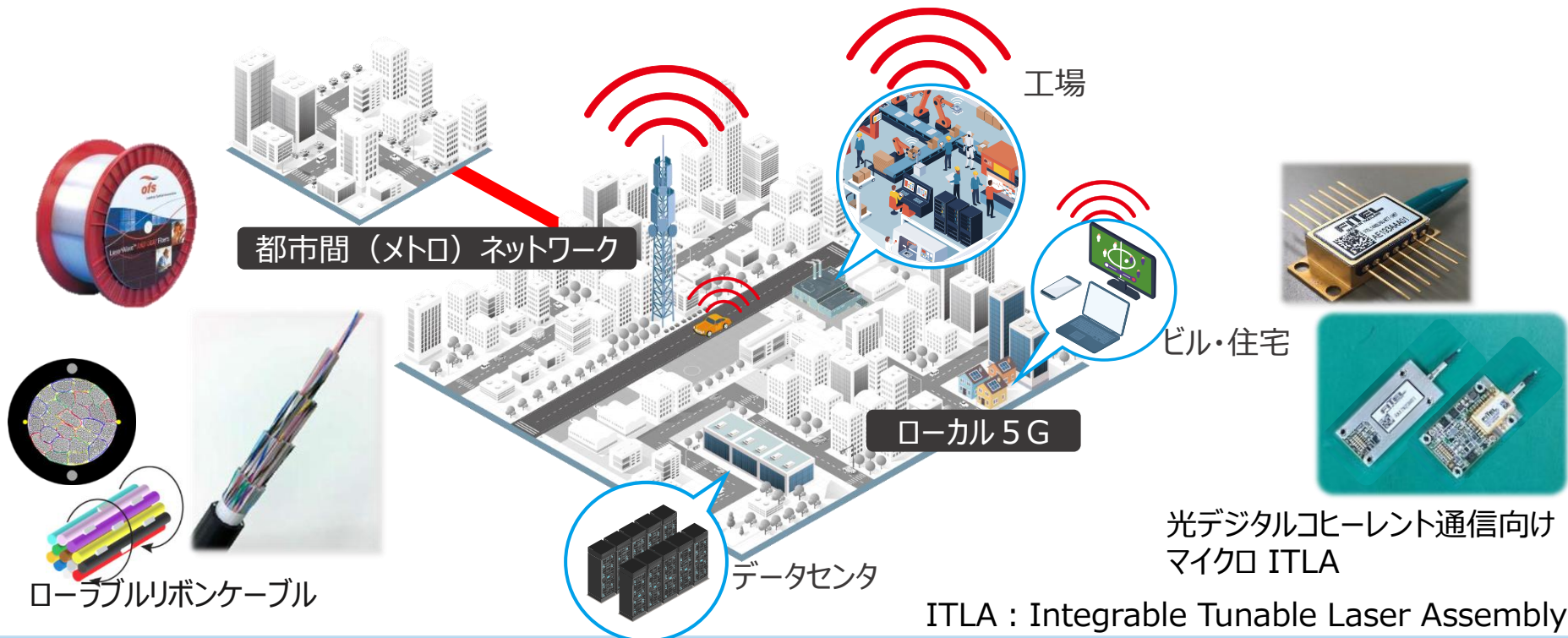
電動化

## 5Gの進展を見据えたグローバルな事業拡大

高速大容量  
低遅延  
同時多点接続

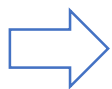


- ・低損失/低曲げ損失光ファイバ
- ・細径/多心（高密度）ケーブル（ローブルリボン）
- ・ファイバ接続製品（融着接続機、多心コネクタ）
- ・小型/狭線幅/省電力/高出力光源（マイクロITLA）

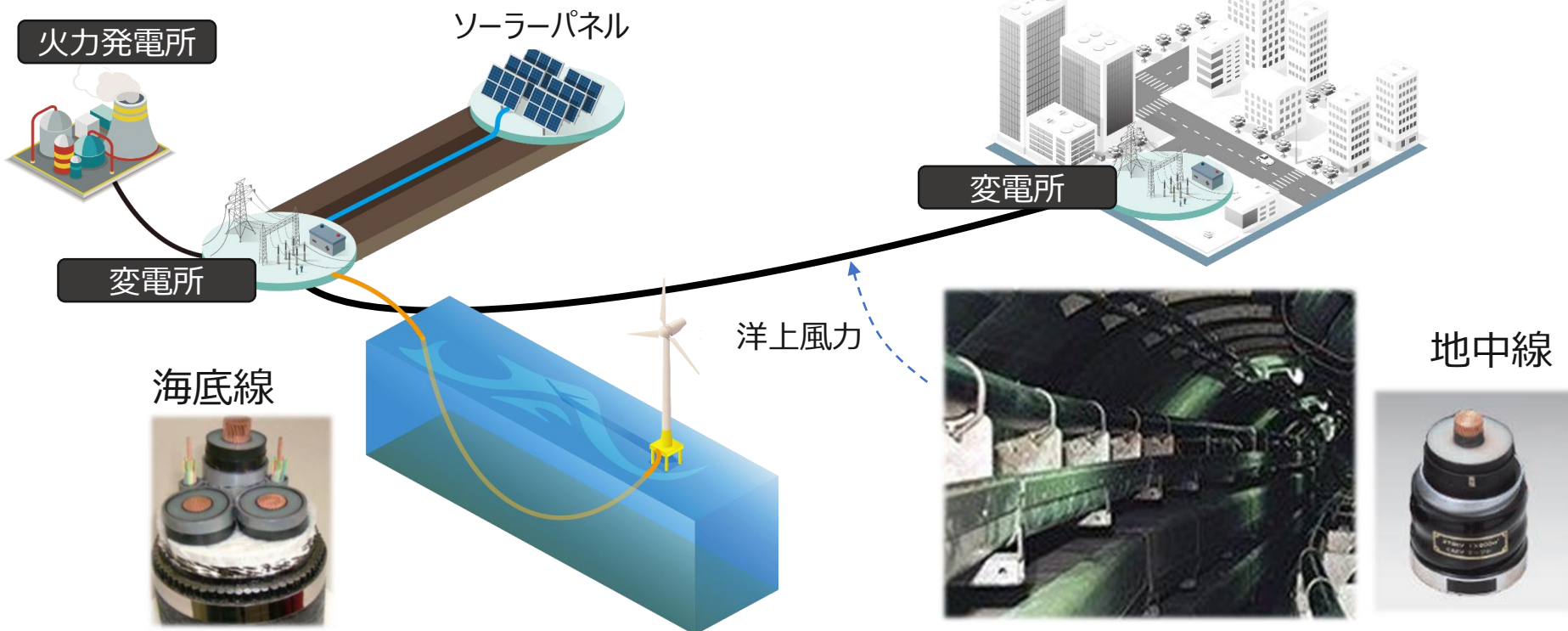


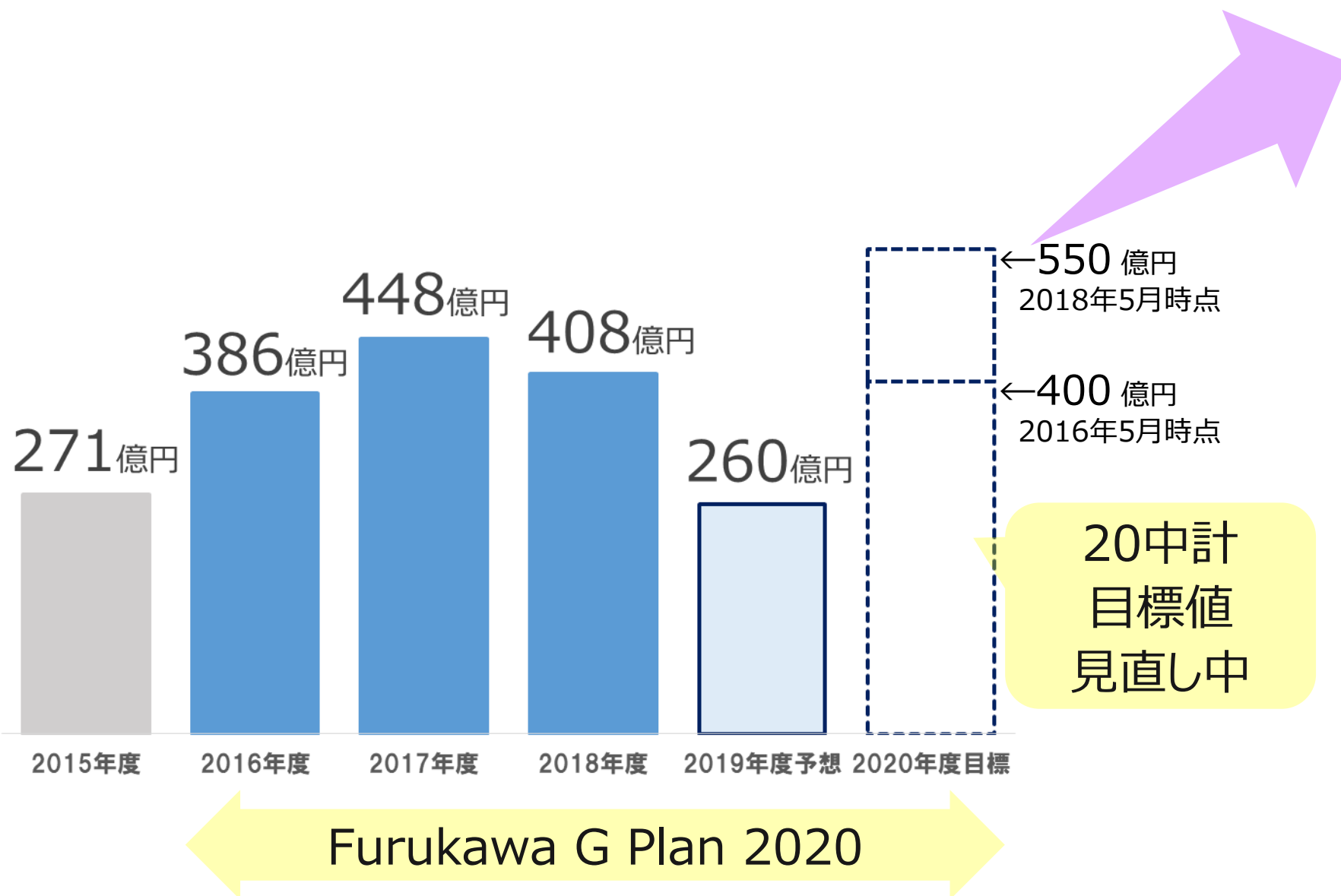
再生可能エネルギーによる電源分散化に対応する系統線整備・強靱化のための事業基盤確立

5Gに伴い電力量増加  
環境にやさしいエネルギー



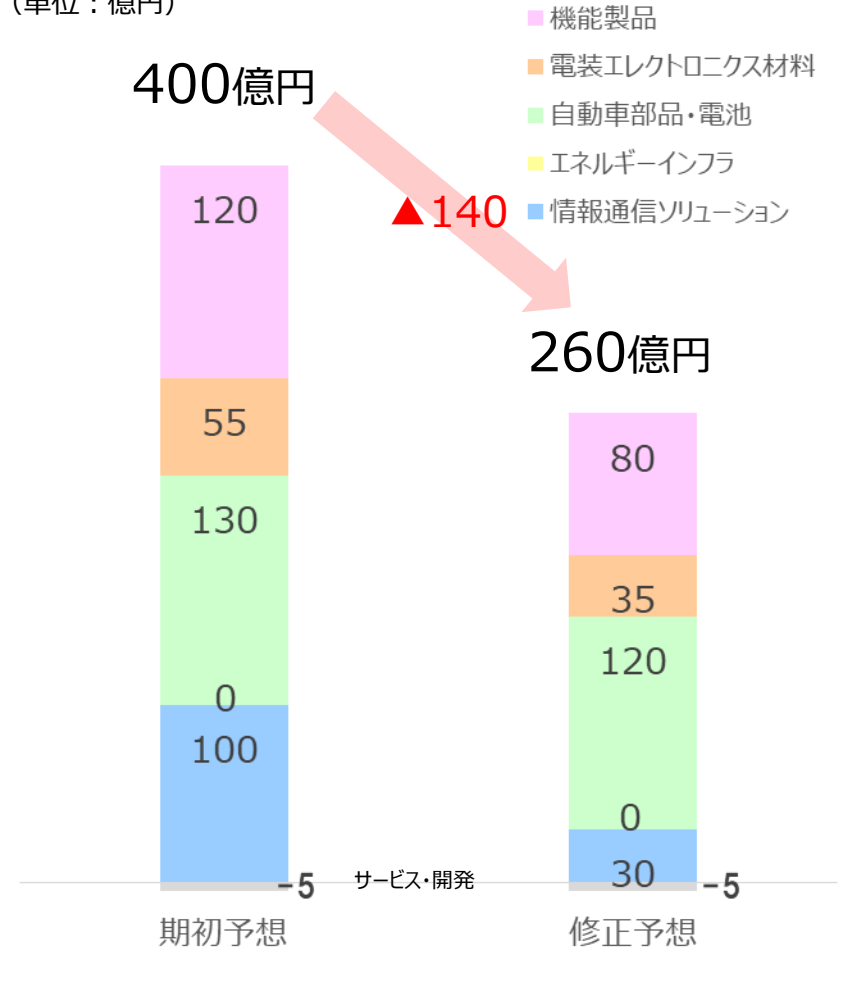
電力の安定供給  
将来のエネルギーミックス転換  
のための超高压電力ケーブル





## ■ 2019年度 年間の営業利益予想を下方修正

(単位：億円)



### 主な修正要因

情報通信  
ソリューション

- 中国需要減少に伴う光ファイバ余剰で、欧州・アジアなどで市場価格が大幅に下落
- 北米での光ケーブル生産性改善の遅れ

機能製品

- 銅箔台湾拠点の火災の影響
- データセンタ市況回復の遅れ

電装エレクトロニクス材料

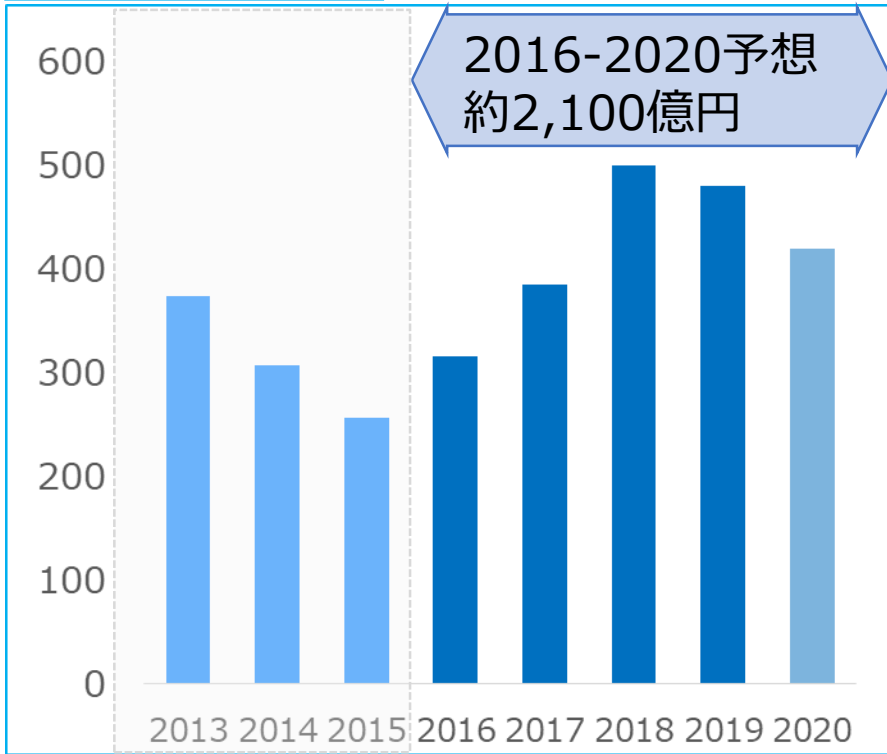
- エレクトロニクス市況低迷

自動車部品  
電池

- 自動車市況低迷

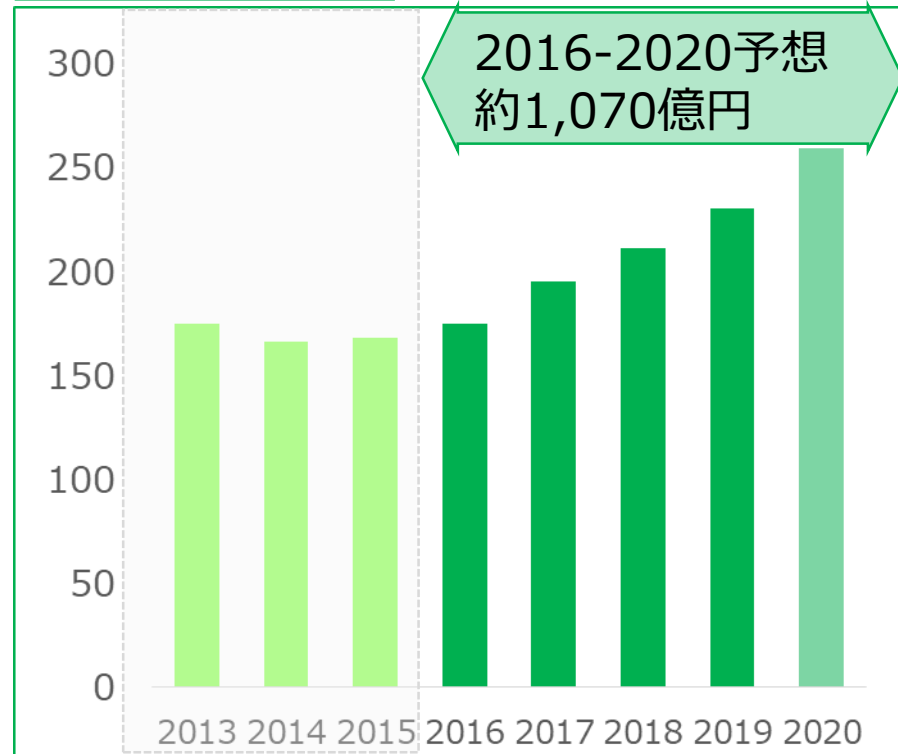
## 設備投資

(単位：億円)



## 研究開発費

(単位：億円)



光ファイバ・ケーブルの増産、生産性向上



電力ケーブルの長尺海底線製造能力の整備・生産性向上



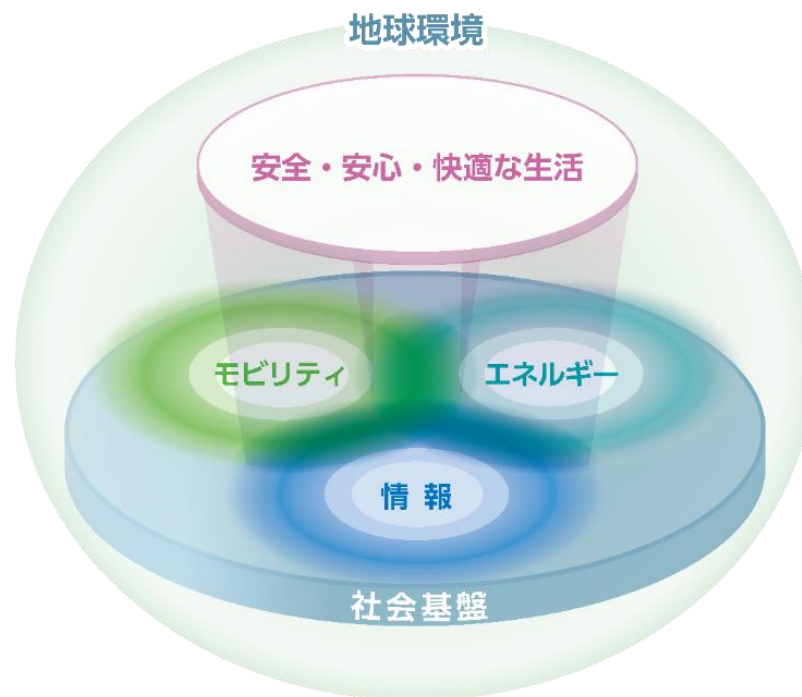
自動車のワイヤハーネス生産体制強化





1. 会社概要
2. Furukawa G Plan 2020の進捗
- 3. 古河電工グループ ビジョン2030**
4. 人材育成
5. 株主還元

古河電工グループは「地球環境を守り」  
「安全・安心・快適な生活を実現する」ため、  
情報 / エネルギー / モビリティが融合した社会基盤を創る。



# 2030年にはどんな社会に？



情報 / エネルギー / モビリティが融合

## 情報 × モビリティ

### モビリティとインフラとの通信

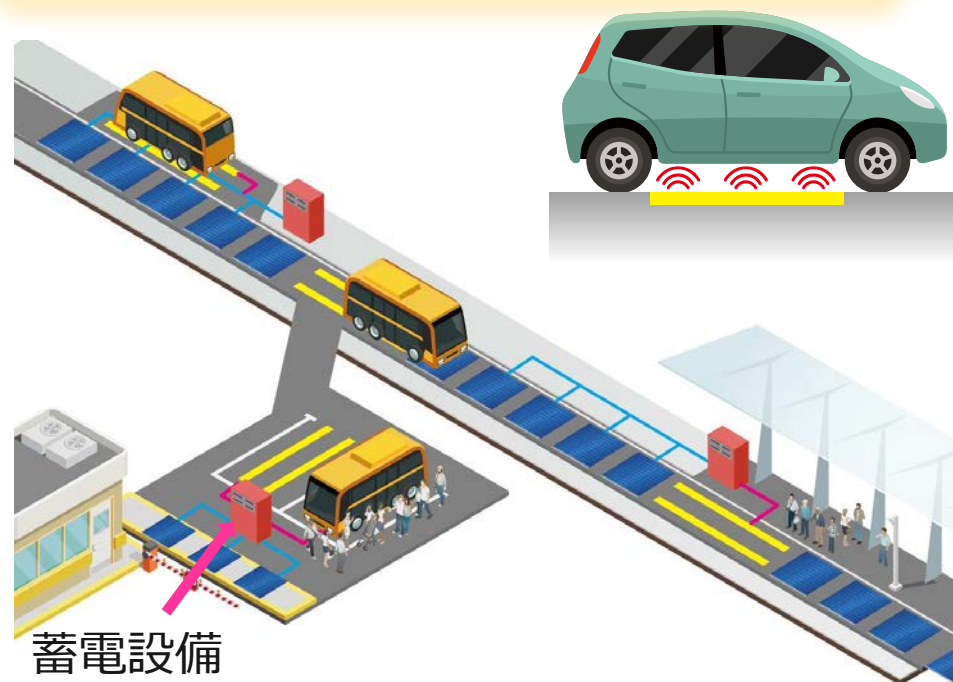


渋滞に巻き込まれず、快適に移動

## エネルギー × モビリティ

### ワイヤレスでの給電

停車中も、走行中も充電される安心



道路が見守る安全



LED照明が点灯！  
音声とともに  
歩行者と車の接近を  
お知らせ

センサ

スピーカー

電力ケーブル

# 創業の思いを未来へ (2030年に向けて取り組んでいること)

## 2019年の自然災害



山形県沖地震



浅間山噴火



佐賀豪雨



台風15号



台風19号

古河電気には、皆様と共に守りたい **未来の社会** があります。**大切な人の幸せ** があります。

4つの技術で防災・減災を実現



強靱な社会インフラをつくり、それを守る技術を磨き続けます

子供たちが安心して暮らせる



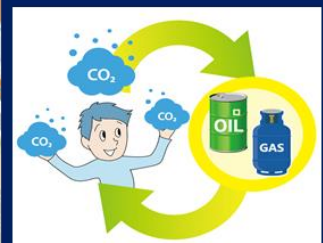
いつもママが見てくれる

人々が安全な場所まで確実に辿り着ける



この道を行けば大丈夫

CO2を味方にして利活用する社会



エネルギーのある生活

1. 会社概要
2. Furukawa G Plan 2020の進捗
3. 古河電工グループ ビジョン2030
4. 人材育成
5. 株主還元

将来の経営を担う  
グローバル人材育成の観点強化した  
各種プログラムを実施



社長ツアー 従業員との対話会



役員も積極的に参加  
直接対話は貴重な機会



グローバル ディベロプメント プログラム (海外ナショナルスタッフ)



## 実践を通じて、次世代を担う技術者を育成する

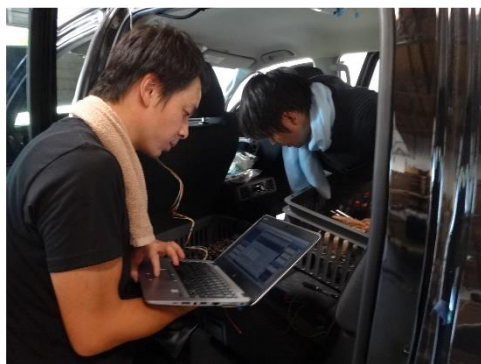
### 北米縦走テスト

酷暑と厳寒、厳しい環境下での車の実際の使い方を肌で感じ取り、開発センスを磨いていくことで、広く人材育成とマインド向上を図る



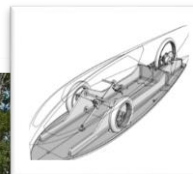
### 北米縦走テスト

お客様の期待する品質を具体化する  
各種取り組みの一つ



### EVエコランレース

設計段階から実際の競技までの実践を通じて、基本的な技術の習得と開発する喜びを体験

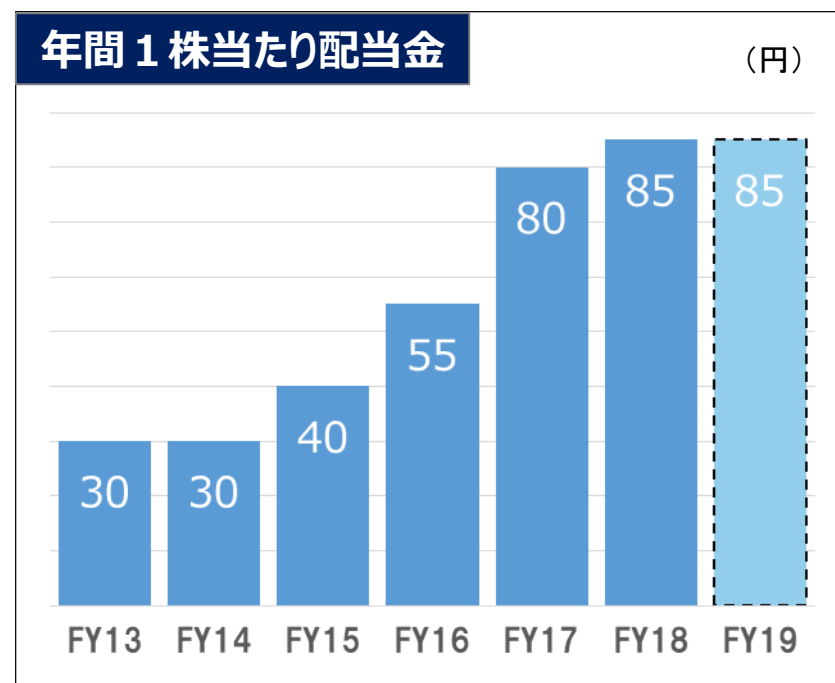


### EVエコラン

同じ容量の電池で時間内に  
どれだけ遠くまで走れるかを  
競う省エネレース

1. 会社概要
2. Furukawa G Plan 2020の進捗
3. 古河電工グループ ビジョン2030
4. 人材育成
5. 株主還元

株主還元については、  
成長投資と財務体質改善との  
バランスをふまえながら、  
安定配当方針を継続いたします



ご清聴ありがとうございました。

*Bound to*  *Innovate*

## 将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況、ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、例として以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- ・米国、欧州、日本その他のアジア諸国の経済情勢、特に個人消費及び企業による設備投資の動向
- ・米ドル、ユーロ、アジア諸国の各通貨の為替相場の変動
- ・急速な技術革新と当社グループの対応能力
- ・財務的、経営的、環境的な諸前提の変動
- ・諸外国による現在及び将来の貿易規制等
- ・当社グループが所有する有価証券等の時価の変動

従いまして、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは大きく異なる場合があることをご承知おき下さい。なお、当社グループは、この資料の本リリース後においても、将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。

## 著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、古河電気工業株式会社に帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。

**古河電気工業株式会社**

